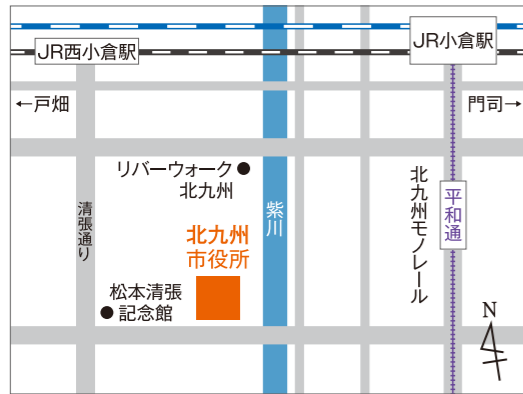


CITY OF KITAKYUSHU GUIDE BOOK



北九州市産業経済局企業立地支援課

〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区内1-1
TEL. 093-582-2065 FAX. 093-582-1202
ホームページアドレス ●<https://kitakyu-kigyorichi.jp/>



北九州市港湾空港局物流振興課

〒801-8555 福岡県北九州市門司区西海岸1-2-7
TEL. 093-321-5988 FAX. 093-321-5936
ホームページアドレス ●<http://www.kitaqport.or.jp/>



北九州市東京事務所 (首都圏企業立地支援センター)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
(東京交通会館 6F)
TEL. 03-6213-0093 FAX. 03-6213-0090

リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

北九州市印刷物登録番号 第2114053B号 (R4.3)



令和4年度 北九州市 企業立地のご案内



KITAKYUSHU CITY

2022

目次 CONTENTS

北九州市について 1

- 北九州市の暮らし
- 最高のロケーション

物流インフラ 4

- 本州と九州を繋ぐ、交通の“要”
- 充実した物流インフラ
- 豊富な国際定期コンテナ航路網
- フェリー・RORO船輸送網
- 貨物鉄道輸送網
- 北九州空港

北九州市の優位性 10

- ものづくりの街
- 人材の安定的確保
- 北九州学術研究都市
- 完成車メーカーに囲まれる北九州市
- 北九州市の先進的取組

豊富な産業用地 17

- 響灘地区
- 響灘臨海工業団地
- 日本製鉄株式会社 用地
- ひびき灘開発株式会社 用地
- AGC株式会社 北九州事業所 用地
- 三菱ケミカル株式会社 福岡事業所 用地
- 酒本商事株式会社 用地
- 若築建設株式会社 用地
- サイエンスパーク
- 北九州学術研究都市
- 北九州空港跡地産業団地
- マリナクロス新門司

行政のバックアップ 31

- ワンストップによる行政のバックアップ
- ロボット導入・DX推進支援事業
- 工業用水道事業
- 上下水道事業

充実した補助メニュー 33

- 企業立地促進補助制度
- オフィス関連補助制度
- 企業立地促進資金融資制度

大都市と大自然が共存するまち
じぶんに合う暮らし方が
見つかる地方都市「北九州市」

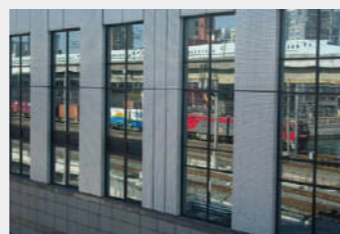
アクセスがよくコンパクトなまち

鉄道やバス等の交通機関が発達しているだけでなく、交通の結節点として、高速道路や都市高速も充実し、更に空港から国内や海外へ容易にアクセスできます。

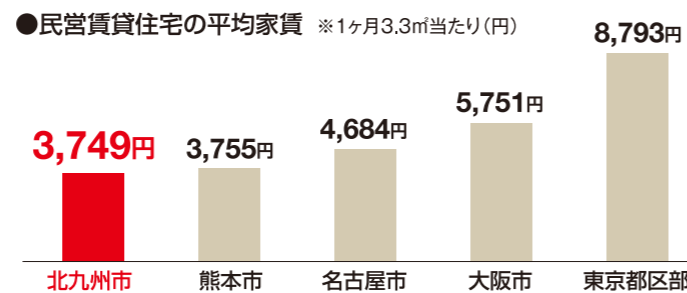


新しいことに挑戦できるまち

駅近くに若者が集まるコワーキングスペースがあるなど、新しいビジネスを始める素地が整っています。



借家家賃の安さが
大都市で第2位



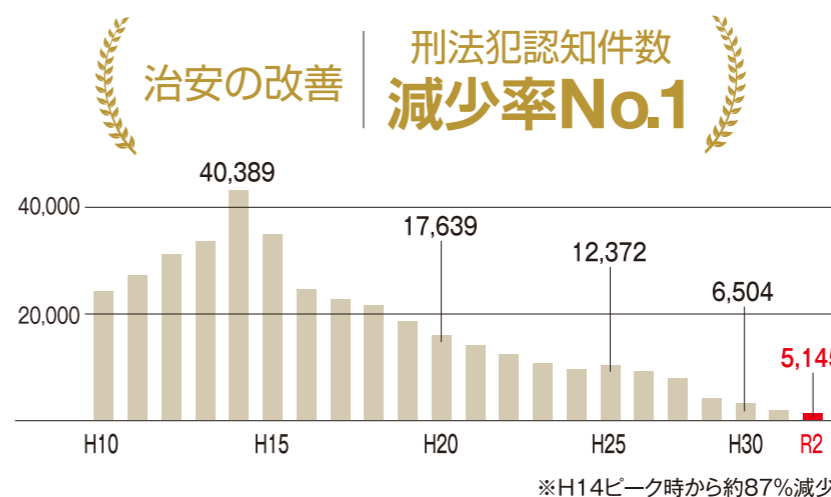
子どもから大人まで安心して暮らせる快適なまち

公園が広い!
政令指定都市第5位

●人口1人当たりの公園面積・都市公園面積

都市名	総人口(人)	都市公園計(ha)	一人当たりの面積(m ²)
東京都	9,682,088	2,823.56	2.92
名古屋市	2,320,719	1,631.99	7.03
大阪市	2,753,819	957.84	3.48
北九州市	935,084	1,190.19	12.73
福岡市	1,603,043	1,432.04	8.93
熊本市	737,490	714.83	9.69

令和3年度4月1日現在



次世代育成環境ランキング
10年連続1位

2020年度NPO法人エガリテ大手前による「次世代育成環境ランキング」において、北九州市は10年連続で政令指定都市第1位となりました。調査開始から16年間の調査のうち15回、第1位を獲得しています。

相談窓口・お試し移住・就職支援・住宅補助を始めとした移住支援制度を実施しています。

北九州市すまいるクラブ
会員募集中!

●会員特典

引越割引

不動産仲介手数料割引

暮らし情報お届け



北九州ライフ 検索



最高のロケーション

経済成長の著しいアジアの国々。
北九州市は、アジアの玄関口と呼ぶにふさわしい立地環境にあり、
アジアのマーケットをにらんだ生産・物流の拠点として注目されています。

- アジアの中で北九州市は東京と上海の中心に位置
- 上海までは約1,000kmで東京までと同程度
- 釜山までは230kmで大阪より近い

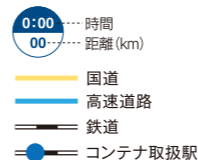


本州と九州を繋ぐ、交通の“要”

高速道路、鉄道、船舶、航空機により各地と繋がり、西日本の物流拠点として最適な立地条件を有します。
平成28年4月に東九州自動車道《北九州—宮崎間》が全線開通し、この区間の移動が大幅に短縮されました。
これにより、北九州市は本州、東九州、西九州の3方向に伸びる高速道路の結節点に位置し、中国・四国を含めた西日本広域エリアの中心となっています。
充実した物流基盤に加え、交通アクセスが更に向上したことで、本市の「物流拠点都市」としてのポテンシャルがますます高まりました。

北九州市から西日本の主要都市までの時間と距離

※小倉南ICから各都市ICまでの時間と距離を表示



ACCESS ●アクセス

フェリー

【新門司】	
神戸まで	12時間
泉大津まで	12時間
大阪南港まで	12時間
徳島まで	14時間
横須賀まで	21時間
東京まで	35時間
【小倉】	
松山まで	7時間

JR(新幹線)

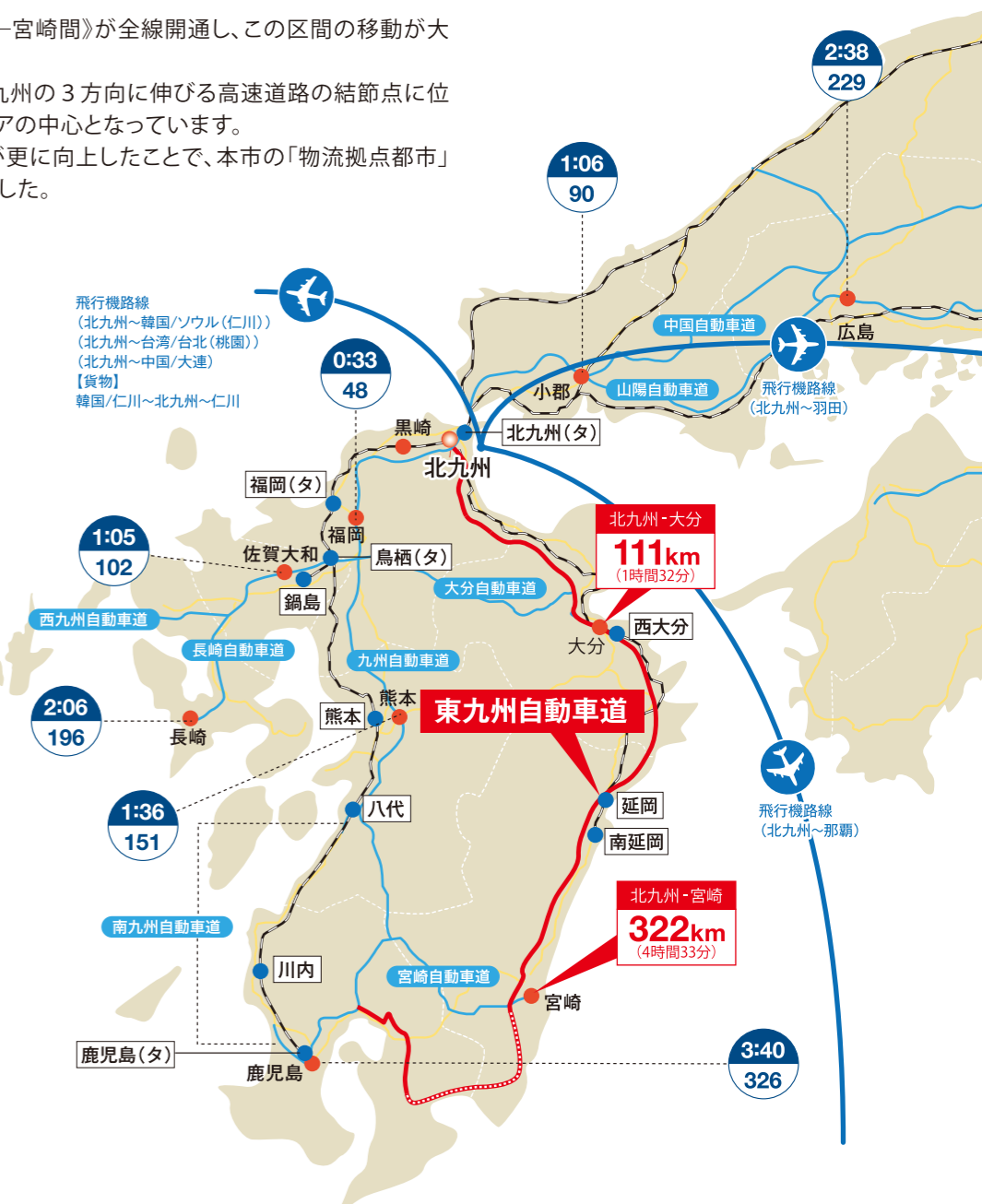
東京駅まで	4時間50分
名古屋駅まで	3時間
新大阪駅まで	2時間10分
博多駅まで	15分
熊本駅まで	55分
鹿児島中央駅まで	1時間35分

飛行機

東京まで	1時間30分
沖縄まで	1時間40分

高速自動車道

【門司ICから】	
東京ICまで	11時間
名古屋ICまで	8時間
東大阪ICまで	6時間



北九州⇄東京(羽田) | スターフライヤー、日本航空の航空便が早朝から深夜まで1日15往復運航しています。

北九州⇄沖縄(那覇) | スターフライヤーが1日1往復で運航しています(季節運航)。

運航ダイヤなど、詳細は北九州空港ホームページをご覧ください。 [北九州空港](#)



安定的な操業が可能な都市 北九州市

北九州市の「ものづくり」の歴史は、筑豊からの石炭と中国からの鉄鉱石の原料調達に優れた地理性、また地震等の災害が少ないというBCP(事業継続計画)の観点から、官営八幡製鐵所の立地が決定したことに始まりました。1901年に操業を開始した官営八幡製鐵所は、現在に至るまでの1世紀以上もの間、24時間365日ノンストップで稼働しています。

北九州市は、日本の高度成長を産業面で支え、近年は、素材型産業のノウハウを活かした機械・金属加工産業や自動車関連産業、そして環境エネルギー産業など様々な企業が集積しています。

また、災害低リスクエリアという優位性から、BCPやサプライチェーン維持の観点から、データセンターや物流関連企業の進出も続いています。



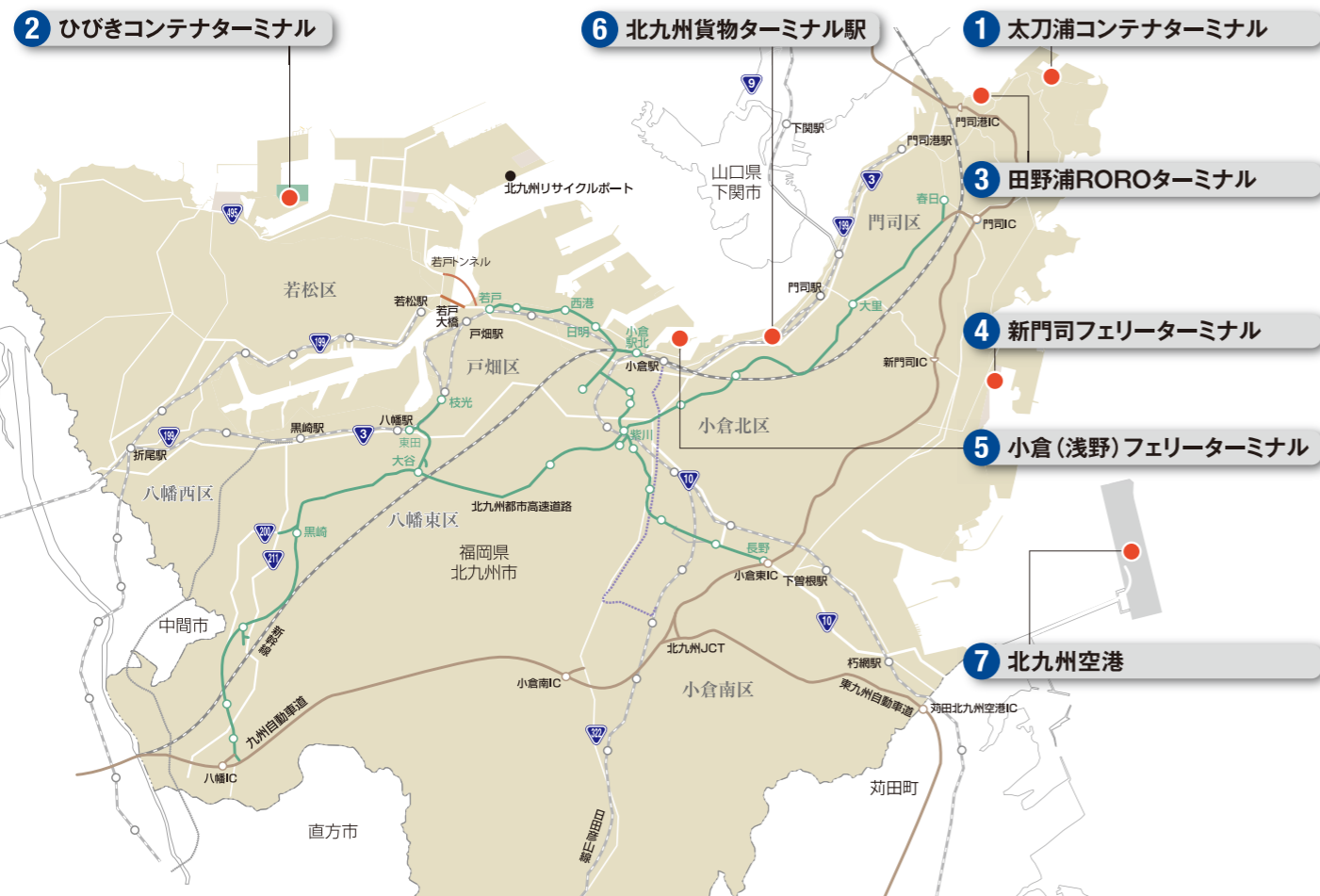
市の基本データ (令和4年2月1日)

- 人口929,113人
- 世帯数435,916世帯
- 面積491.71km²
- 気温(年間平均)17.2℃(令和3年)
- 年間降水量1551.0mm(令和3年)

出典: 北九州市HP「とうけい北九州」

充実した物流インフラ

北九州市は、本州と九州の結節点に位置し、本州、東九州、西九州の3方向に伸びる陸上アクセス網が発達しています。また、瀬戸内海と日本海に面した東西2つのコンテナターミナルのほか、フェリー・RORO船、在来船に対応する多彩な港湾施設、24時間利用可能な海上空港や鉄道貨物ターミナルなど、陸・海・空の物流インフラが充実しています。あらゆる輸送モードに対応できるため、Sea & Sea、Sea & Rail、Sea & Air など複合一貫輸送も可能です。

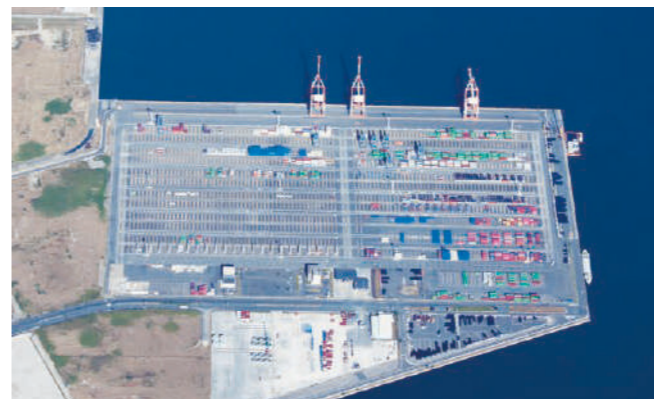


国内外を視野に入れた、複合型物流拠点。

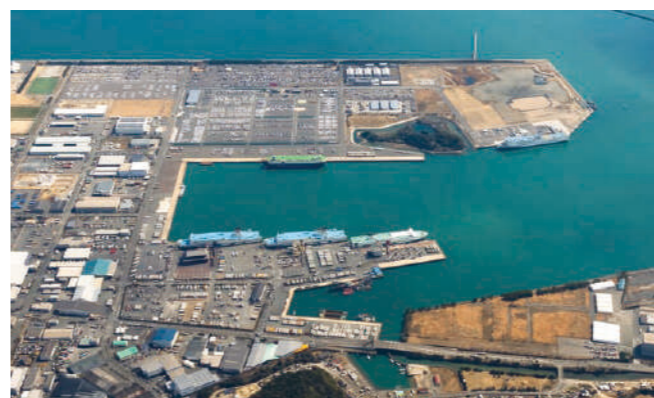
アジアに開かれた地の利を活かしつつ、高性能な物流ネットワークで各種ビジネスをサポートします。



1 太刀浦コンテナターミナル
「PORT MOJI」として世界的にも長年親しまれている、西日本有数のコンテナターミナルです。豊富な航路網と地理的優位性を活かし、アジアのゲートウェイとして充実した物流サービスの提供に努めています。



2 ひびきコンテナターミナル
2005年に供用開始し、オーバーパナマックス型の大型コンテナ船も入港可能な大水深岸壁(-15m)を持つ高規格ターミナルです。背後にある広大な産業用地には、物流施設や工場の立地が加速しています。



4 新門司フェリーターミナル
西日本最大級のフェリー基地として、関西へ毎日4便、関東(東京(徳島経由)/横須賀)へ毎日2便(日曜を除く)のフェリーと、名古屋等へ週7便のRORO船が運航されているため、大消費地との多頻度輸送が可能です。



6 北九州貨物ターミナル駅
最新の設備を持つ鉄道貨物駅として、日本全国の駅を結ぶ鉄道輸送の拠点で、貨車に載っているコンテナを本線上の列車から直接積降する着発線荷役(E&S)方式の導入で時間短縮が可能になりました。



3 田野浦ROROターミナル
約2,000台の自動車蔵置能力を有し、中古自動車の輸出基地として、主にニュージーランド向け自動車専用船(PCC)が寄港しています。また、RORO船による精密機器の国際輸送拠点としても活用されています。



5 小倉(浅野)フェリーターミナル
都心に近くJRへのアクセスも良く、利便性に優れたターミナルです。四国(松山)へ毎日1便のフェリーが運航されています。



7 北九州空港
24時間利用可能な海上空港です。九州・中四国で唯一、貨物定期便が運航され、シーアンドエア輸送が可能です。小口貨物から大型・特殊貨物まであらゆる貨物の輸送に最適です。

豊富な国際定期コンテナ航路網

中国、韓国、台湾を中心にアジア各国の港と密に結びついているのが北九州港です。また、このほかにもフィーダー接続によるネットワークで全世界と結ばれています。

国名・地域	航路数	便数/月
東南アジア	7	28
台湾	4	14
中国	15	62
韓国	8	40
計	34	144

(令和4年3月1日現在)



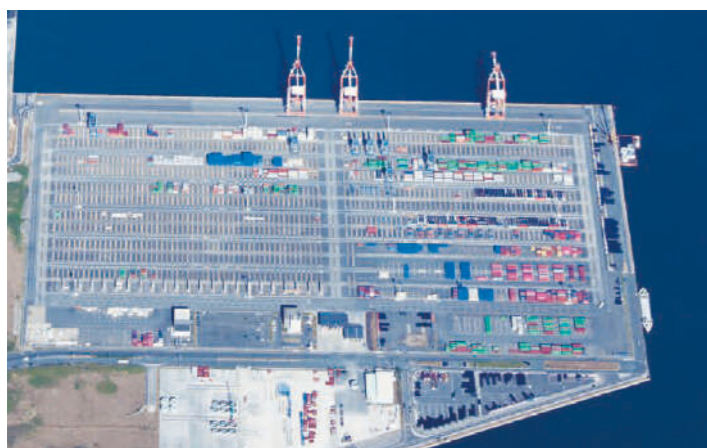
太刀浦コンテナターミナル 歴史ある西日本有数のコンテナターミナル。



施設概要

区分	太刀浦 第1 コンテナターミナル	太刀浦 第2 コンテナターミナル
供用開始	昭和54年	昭和62年
岸壁・延長	658m(取り付け部含む)	555m
水深	-12m	-10m
ターミナル総面積	161,500㎡	161,547㎡
コンテナクレーン	4基	3基
ストラドルキャリア	15基	11基
蔵置能力	6,424TEU	4,152TEU
冷凍コンセント	400V×95	400V×96、200V×36

ひびきコンテナターミナル 大型船の寄港に適した大水深岸壁(-15m)を有するコンテナターミナル。



施設概要

区分	ひびきコンテナターミナル	
供用開始	平成17年	
岸壁・延長	350m×2	170m×2
水深	-15m	-10m
ターミナル総面積	39ha	
コンテナクレーン	3基	
ストラドルキャリア	7基	
蔵置能力	22,464TEU(4段積み)	
冷凍コンセント	400V×324	

フェリー・RORO船輸送網

環境に優しくモーダルシフトを可能にする輸送網で、東京・関西方面や名古屋・沖縄などの多頻度輸送が可能。内航フェリー・RORO船で輸送される貨物量は、北九州港全体の約半分にも及びます。

関東、関西、名古屋等とのフェリー・ROROネットワーク

新門司地区

西日本最大級のフェリーターミナルである新門司からは、関西(大阪南港、泉大津、神戸)へ毎日4便、関東(東京/横須賀)・四国(徳島)へ毎日2便(日曜除く)のフェリーが運航されています。(阪九フェリー・名門大洋フェリー・オーシャントランス・東京九州フェリーにより運航)

新門司フェリーターミナル



阪九フェリー、オーシャントランス、東京九州フェリー

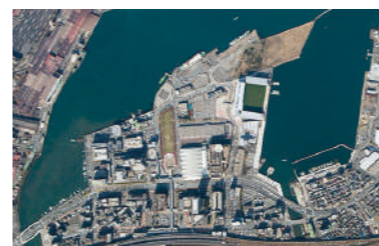
新門司地区は、完成自動車の物流拠点として、広大なモータープールを擁しています。現在、名古屋方面に週7便のRORO船が運航されています。(トヨフジ海運・フジトランスコーポレーションにより運航)



名門大洋フェリー

小倉(浅野)地区

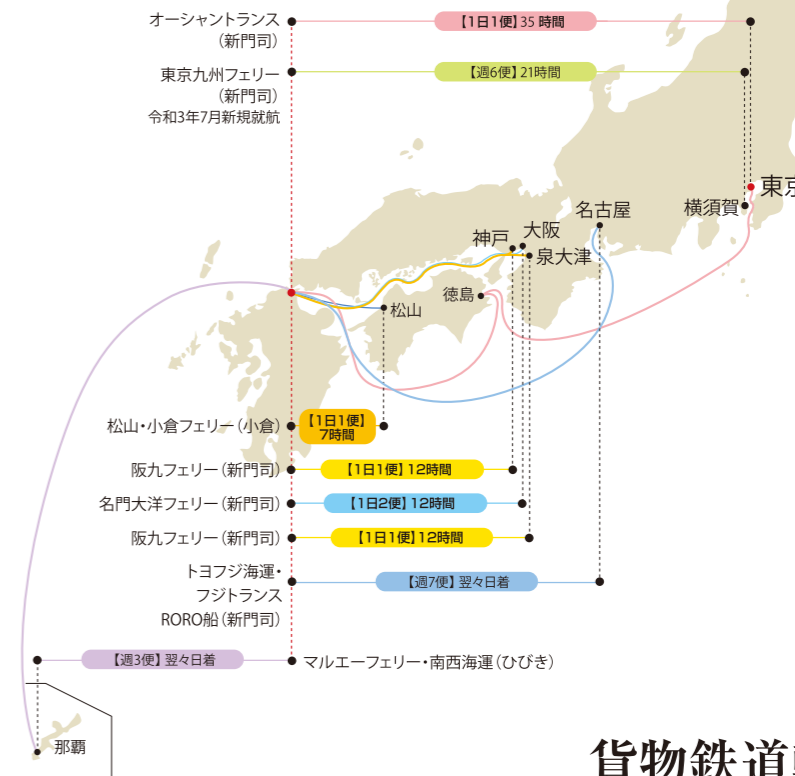
小倉(浅野)地区からは、四国(松山)へ毎日1便のフェリー(松山・小倉フェリー)が運航されています。



小倉(浅野)地区

響灘地区

響灘地区からは沖縄へ週3便RORO船が運航されています。(マルエーフェリー、南海海運)



貨物鉄道輸送網

北九州貨物ターミナル駅

北九州貨物ターミナル駅は、福岡、熊本、鹿児島方面と大分、宮崎方面の結節点となる九州の拠点貨物駅です。

■24時間体制の国内輸送ネットワーク拠点

北九州市の鉄道輸送拠点である「北九州貨物ターミナル」は、本線上の列車から直接積み降ろし可能な「着発線荷役方式」を採用することにより、迅速な荷役作業が可能です。長編成列車(26両)に対し、40ftコンテナ、35トンまでの貨物を扱うことができる駅のひとつでもあり、全国のコンテナ取扱駅との豊富なダイヤにより、国内貨物輸送のネットワーク化を実現しています。

■環境にやさしい鉄道貨物輸送

大型海上コンテナ専用ホームを有する北九州貨物ターミナル駅では、アジアから海上距離が短い北九州港の特性を生かした「Sea&Rail」が行われています。トラックのCO₂排出量の約11分の1といわれる鉄道輸送により、環境負荷を軽減する輸送を実現します。



北九州空港

北九州空港は、九州・中四国で唯一、24時間利用可能な海上空港です。早朝から深夜までの貨物輸送に対応した九州・西中国エリアの物流拠点として、新たなビジネスチャンスの構築が可能です。

九州・中四国で唯一、
24時間利用が可能な
海上空港



国際貨物定期便



九州・中四国で唯一、貨物専用機での定期便が運航しています。貨物専用機の運航により、小口貨物から、大型・特殊貨物まで、あらゆる貨物の輸送に最適です。

大韓航空(仁川⇄北九州) 仁川を経由して世界43カ国120都市と接続

■大韓航空(毎週水・木・金・土曜日)

便名	時間	機材
KE0557	仁川発 13:50	B748F B744F
	北九州発 15:20	
KE0558	北九州発 18:10	B777F
	仁川発 19:35	

※スケジュールは予告なく変更になる場合があります。

国際・国内貨物チャーター便

国際貨物チャーター便が月1便以上の頻度で就航しています。北九州空港では、貨物チャーター便の運航が可能です。

就航エアライン 大韓航空・ANACargo・アトラス航空ほか

貨物関連施設

●貨物地区

現貨物地区には、国内貨物上屋及び国際貨物上屋、保税テント倉庫が整備されています。隣接する貨物地区拡張地には、高まる貨物需要を受け止めるため、新たな貨物上屋を建設中です(令和4年7月竣工予定)。

●直立護岸

空港島内には船舶が接岸できる直立護岸を有しており、航空と海上を組み合わせたシーアンドエア輸送による特殊貨物の輸送が可能です。令和3年11月には、人工衛星の輸入が実施され、フランスから北九州空港まで航空輸送(エア)、北九州空港から種子島まで海上輸送(シー)されました。



国内便

羽田旅客便(スターフライヤー、日本航空)が早朝から深夜まで運航されており、ペリー(貨物室)を利用した貨物の輸送を行っています。



TOPIC

ヤマトホールディングス(株)が貨物専用機を導入し、日本航空(株)と共同で、北九州空港を九州の航空輸送拠点として選定しました。2024年4月から運航が開始されます。



提供:ヤマトホールディングス(株)



第2国際貨物上屋 完成イメージ

ものづくりの街



120年にわたり日本の産業拠点として発展した歴史から、鉄鋼、化学、自動車などを中心とした産業が集積・高度化しており、近年注目されている環境・エネルギー産業も数多く立地しています。

環境・エネルギー関連

- (株)アットグリーン
- アマタ
- (株)石橋製作所
- エア・ウォーター(西日本)
- 岡野ノルブ製造(株)
- 西部ガス(株)
- (株)新菱
- 電源開発(株) 若松事業所
- 日鉄鋼構(株)
- 日本環境設計(株)
- 日本コープ(工業)
- 日本パワーラフ(株)
- thyssenkrupp rothe erde Japan(株)
- 徳北拓
- ひびきエル・エヌ・ジー(株)
- 吉河電工業電線(株)
- BASF 戸田バッテリーマテリアルズ合同会社
- (株)安川電機 本社・八幡西事業所・行橋事業所
- (株)リサイクルエナジー
- (株)リージェンシー・スティール・ジャパン

情報通信関連

- iGTG(株)
- (株)ATOMica
- (株)NTTマーケティングアクト
- GMO インターネット(株)
- (株)スターフライヤー・ビジネスサービス
- セイコーエフソン(株)

素材・部材関連

- (株)アステック入江
- AGC エスアイテック(株)
- 大阪精工(株) 九州工場
- (株)カクダイ 岐阜工場 小倉 Branch
- 佳秀工業(株)
- 黒崎播磨(株)
- 小倉合成工業(株)
- JNC マテリアル(株)
- (株)大阪ノード 北九州工場
- (株)DAIKO TOOL
- 太陽(インキ製造) 北九州事業所
- 大和製罐(株) 新戸畑工場
- 常石鉄工(株) 若松ステール工場
- (株)NP 高機能マテリアル
- (株)DNP ファインオプトロニクス
- 東海カーボン(株) 九州若松工場
- 東京製鐵(株) 九州工場
- 東邦金属(株) 門司工場
- 東邦チタニウム(株) 八幡工場・若松工場
- 日揮触媒化成(株) 北九州事業所
- 日鉄ケミカル&マテリアル(株) 九州製造所
- 日鉄ステンレス(株) 八幡製造所
- 日本製鉄(株) 九州製鉄所
- 日本鉄塔工業(株) 若松工場
- (株)日立金属若松
- フロンティアカーボン(株)
- 三島光産(株)
- 三菱ケミカル(株) 福岡事業所

物流関連

- ECL エージェンシー(株)
- オオサキメディカル(株)
- グリーンシップ(株)

自動車関連

- 三菱マテリアル(株)
- 九州工場 黒崎地区
- 八幡電機精工(株)
- 吉川工業(株)
- 石川金属工業(株)
- PLASTIC OMNIUM(株) 北九州工場
- インター精工(株) 北九州工場
- AGCオートモーティブ
- トヨタ輸送(株)
- 住友工業(株)
- 西日本鉄道(株) 国際物流事業本部
- 日本通運(株)
- 日鉄物流(株)
- 日本梱包運輸倉庫(株)
- 日本トランスシティ(株)
- 箱九海運(株)
- キャリムエンジニアリング(株)
- 九州支社門司事務所
- (株)JSP 北九州工場
- ジェット(株)
- 千代田工業九州(株)
- (株)デンソー九州
- 東洋コルク(株) 小倉工場
- (株)戸畑ターレット工作所
- トヨタ自動車九州(株) 小倉工場
- 豊田合成九州(株) 北九州工場
- 中川産業(株)

半導体関連

- 旭国際テクノイオン(株)
- (株)アドバンテスト
- ステラケミファ(株) 北九州工場
- (株)三井ハイテック 本社工場

その他製造業

- (株)シキノハイテック
- 実研開発(株)
- シャボン玉石けん(株)
- (一社)進路指導・キャリア教育支援機構
- (同)数理科学研究所
- (株)石炭炭灰総合研究所
- (株)セキユアサイクル
- (株)セキユア情報研究所
- (株)TUSimple JAPAN
- (株)トリコ
- ハインツツック(株)
- ひびきの電子(株)
- (一社)フージャシステム研究所
- (株)FLTOM
- (公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
- (株)ブラテック
- プランメックRISE(株)
- 豊光社テクノロジーズ(株)
- 三島光産(株)
- (公財)無人機研究開発機構
- 吉川工業(株)
- RoboPlusひびきの(株)
- (株)ワークス
- (株)ロボサイエンス
- エスジーグリーンハウス(株)
- エステー(株) 九州工場
- 王子製袋(株)
- 大阪シーリング印刷(株)
- 福岡工場・門司工場
- (株)OCC 海底システム事業所
- 九州製紙(株)
- シャボン玉石けん(株)
- 株式会社
- (株)セントラルユニ 小倉工場
- (株)J-オイルミルズ 若松工場
- 第一石炭 九州事業所
- (株)タカキ
- タテホ化学工業(株)
- 中外炉工業(株) 小倉工場
- TOTO(株) 本社・小倉第1・第2・小倉物流センター
- (株)七尾製菓
- ニッカウチスキー(株) 門司工場
- 日鉄エンジニアリング(株)
- 北九州技術センター
- 日本水産(株)
- 響灘菜園(株)
- フィード・ワン(株)
- (株)フジコー
- (株)プリントバック 九州工場
- (株)マクス・シントー
- (株)ユニ・エレックス
- (株)陽和
- 吉野石膏(株) 北九州工場
- KOA(株)
- (株)C&Gシステムズ

(順不同)



情報通信関連企業の集積

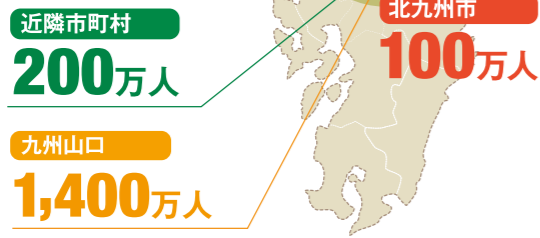
近年、首都圏に本社を置く情報通信関連企業を中心に、北九州への進出や、市内拠点を拡大する動きが活発になっています。令和3年度は誘致を本格的にスタートさせた平成26年度以降で最も多い29社が進出を決定しました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新増設数	7社	11社	14社	9社	20社	29社

近年、情報通信関連企業の進出や市内拠点の拡大といった動きが活発化している背景として、人材確保のサポートをはじめとした、拠点開設検討時から開設後までの一貫した伴走型支援の取り組みがあります。

人材の安定的確保

北九州市は人口およそ100万人を有しており、通勤圏内である近隣市町村を含めると200万人になります。さらに、九州・山口全体を面的採用市場と捉えることで、その人口は東京に匹敵する1,400万人に達します。



高専に特化した採用支援

九州・山口12高専にアプローチする道筋があります！

産業界から非常に高い評価を得ている高専生を産業界が多く採用できるような、本市では各高専との良好な関係を築くための様々な支援をご用意しております。



約8年間の採用支援で得た国立12高専とのネットワークと関係構築のノウハウをご提供

立地企業の認知度アップイベントを開催

九州・山口の学生等を対象に、進出企業の若手社員・採用担当者との交流の機会を提供する就職支援イベント「キタキューIT JAM」を開催しています。令和2年度以降は現地・オンラインのハイブリッド形式で開催し、多くの方々にご参加いただきました。



過去の開催の様子をYouTubeにアップしています。

注目 受け皿づくり (魅力的なオフィスの創出)

企業から選ばれる魅力的なオフィスづくりを目指し、オフィスビル・商業ビルなどの改修に対する補助制度「オフィスリノベーション補助金」に続き、令和3年8月には「次世代スマートビル建設促進補助金」を制定しました。小倉・黒崎地区のビルの代謝を促し、働きがいのある環境の整備に取り組んでいます。

次世代スマートビル建設促進補助金の公式ページ

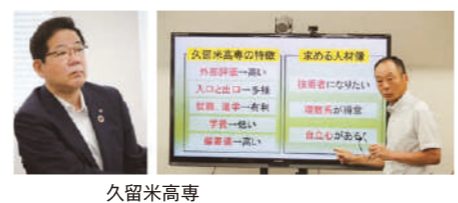
採用支援具体例その① 【企業紹介】採用計画に併せた学校訪問

採用支援のための専任職員を置き、進出企業との同行訪問を含め、年間50回以上、九州・山口の12高専を訪問します。令和元年度は、北九州市長が8高専に訪問し、各校長先生と面会の上、就職状況や国際交流、インターンシップなど、多岐に渡って意見交換を行い、更に連携を強化してまいりました。

年間50回を超える高専訪問



市長による高専訪問8校



採用支援具体例その② 【東京本社見学会】教員とのマッチング機会を創出

九州・山口の学校教員が進出企業の東京本社に一堂に集まる、東京本社見学会を実施しています。経営者からの会社ビジョンの説明、OB・OG社員による研修制度の紹介、オフィス見学などを通じて、教員に企業への理解を深めてもらい、学生の就職意識向上に資する場を提供しています。



GMOインターネット(株) (株)ラック

採用支援具体例その③ 【説明会・イベント】学生とのマッチング機会を創出

講義内で企業説明会を開催

進出企業への就職に目を向けてもらうべく、各高専教員によるご協力のもと、講義内でセミナーや寄付講座、時には企業説明会を実施し、直接学生に会社をPRできる機会を設けています。



佐世保高専 鹿児島高専 有明高専

注目 おためしサテライトオフィス推進事業

サテライトオフィス拠点の設置を検討している首都圏企業等に対して、交通費(往復)、宿泊費、ワーキングスペース利用料を助成します。北九州市の豊かな生活環境、観光資源をはじめ、高専・大学などの学校訪問や、地元企業等との懇談、ワーケーションを通じ、本市のビジネス環境を体感していただき、サテライトなどの拠点開設を促します。事業開始以来100社を超える企業にご参加いただき、このうち19社の拠点開設につながりました。



地元企業との懇談会 ワーキングスペースで業務

北九州学術研究都市

2001年、北九州市は、将来に向けて産業都市として発展していくための知的基盤として、「北九州学術研究都市」を整備しました。北九州学術研究都市には、理工学系の国・公・私立大学や研究機関が一つのキャンパスに集積しています。これらの集積を活用し、(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)が産学連携のコーディネータ役となり、国内外の大学・研究機関や企業との研究開発の支援を行っています。



北九州市立大学
国際環境工学部
大学院国際環境工学研究科



九州工業大学大学院
生命体工学研究科



早稲田大学大学院
情報生産システム研究科



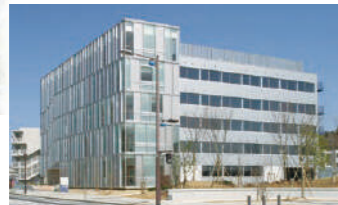
産学連携センター(1号館)
福岡大学大学院 工学研究科



共同研究開発センター
(2号館)



情報技術高度化センター
(3号館)



事業化支援センター
(4号館)



技術開発交流センター
(5号館)



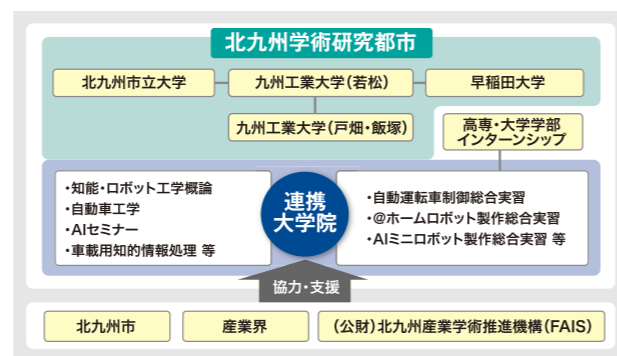
学術情報センター
(図書室・情報処理施設)

自動車・ロボット・AI分野の高度専門人材の育成

北九州学術研究都市にキャンパスを構える九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学は、国公私の連携により北九州市および(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)の支援を受けて、「カーロボAI連携大学院」を開設しています。

連携大学院では、産業界のニーズに応え、「自動車」、「ロボット」、「AI」の分野で次世代を担うリーダーとしての高度専門人材を育成するため、3大学が連携して各大学が強みとする研究領域を担当し、単位互換制度を活用したカリキュラムを策定しています。

また、自動車・ロボット関連企業の技術者らを迎えての「オフサイトミーティング」により、職業観の醸成を図ります。



新たな産業の創出・技術の高度化

北九州学術研究都市に集積する3大学(北九州市立大学・九州工業大学・早稲田大学)のほか、周辺の九州工業大学情報工学院(飯塚市)等広く研究者が集積しています。(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)が、研究シーズと企業ニーズのコーディネートを行い、新たな産業の創出・技術の高度化に努めています。

産学官連携の推進

(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)

北九州学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界の連携をコーディネートする機関です。企業出身者をコーディネーターとして数多く配し、産学連携を推進するとともに、地域中小企業の経営支援やベンチャー企業の創出・育成等を行い、大学・企業等研究開発機関の集積に向けて取り組んでいます。

(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)

<https://www.ksrp.or.jp/fais/>

産学連携施設 貸研究室のご案内

- 面積/約25、50、100㎡等
- タイプ/事務系、化学系、機械系
- 賃料/2,000円/㎡・月
- 共益費/500円/㎡・月
- 光熱水費/実費相当

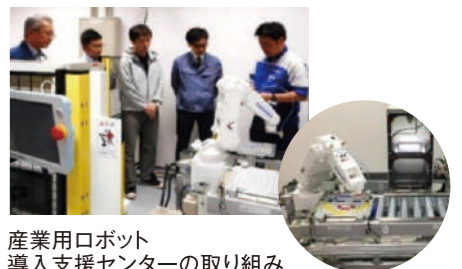


(例)50㎡の場合

1年間の賃借料 約150万円 (賃料 2,000円 + 共益費 500円) × 50㎡ × 12ヶ月

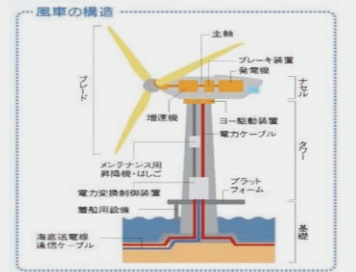
産業用ロボット導入を支援し、企業の生産性革命を推進!

内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」を活用し、産業用ロボットのトップメーカー(株)安川電機と、ロボット関連技術に強みを持つ九州工業大学を中核に、人と同じ作業ができる自律作業ロボットの研究開発を行います。併せて、産業用ロボット等の最先端技術の導入促進に関して、様々な支援策を講じることで、ロボットの普及と、生産性向上や競争力強化を目指します。また、市内ものづくり企業のロボットやIoT、AIの最新技術が学べる実践的なスクールを多数実施することで、高度な理工系人材や、ロボット等の先端技術を導入できる人材を育成していきます。Sler企業の集積、技術力の強化や、大学発ベンチャー企業の創出、IoT・AI技術者や関連企業の集積を目指します。



注目 風力発電関連産業の総合拠点化の推進

2011年より、風力発電関連産業をメインターゲットとし、充実した港湾施設の活用や背後に広がる広大な産業用地への産業集積を図る「グリーンエネルギーポートひびき」事業を推進しています。本市では、改正港湾法の適用第一号となる、港湾区域における本格的な洋上ウインドファーム事業を契機として、海域等各種調査、響灘地区の拠点港での洋上風車の組付けや積出、洋上での風車や基礎の建設、長期に及ぶ安定的な風車運転を支えるO&M(Operation&Maintenance)、さらには、今後の市場拡大を見据えた風車部品製造など、国内外の洋上風力発電事業を支える関連産業への参入やその集積を進めることで、風力発電関連産業の総合拠点の形成を目指します。



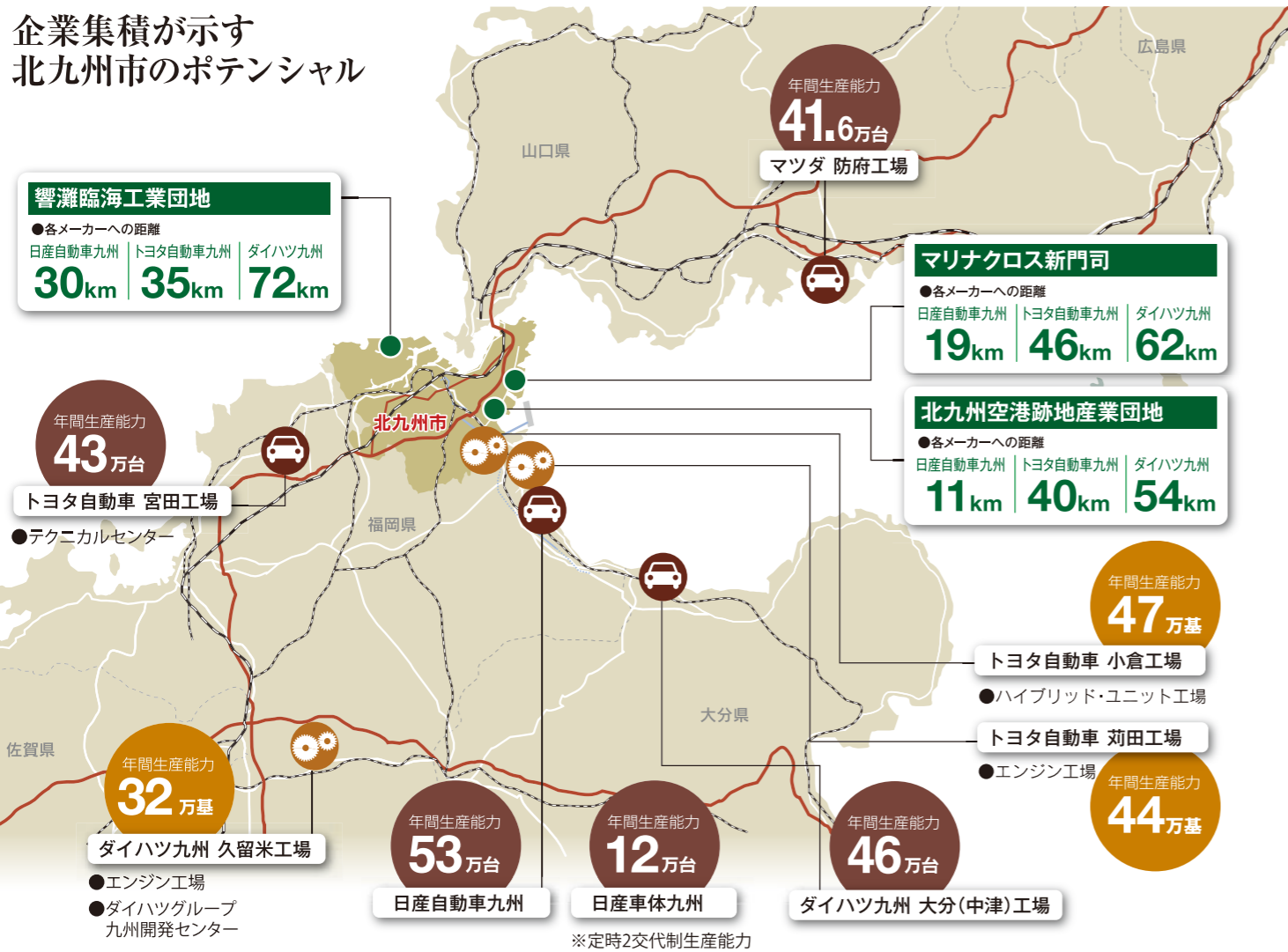
4つの機能とイメージ図

- 輸出入/移出入拠点**: 風車設置場所へ向けた最終積出基地としての機能
- O&M拠点**: 風車部品の輸出入、移出入拠点としての機能
- 産業拠点**: 風車のオペレーション及びメンテナンスを行う機能
- 風車積出拠点**: 背後地に風車関連産業を集積した産業拠点としての機能

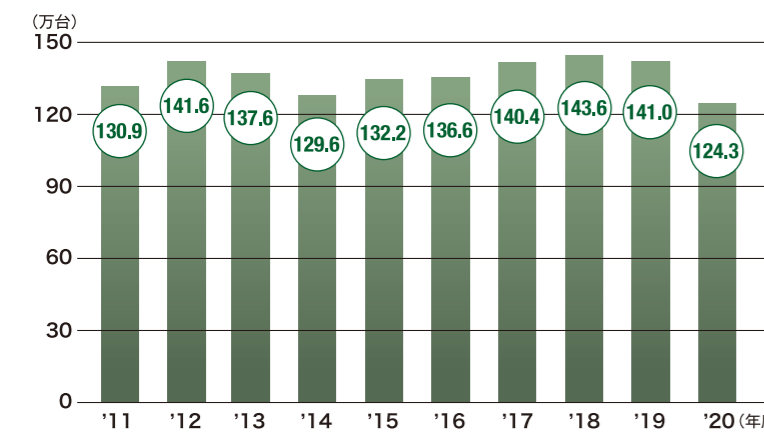
完成車メーカーに囲まれる北九州市

日本を代表する自動車メーカーの工場が北九州市を囲むように立地しています。九州最大の工業地域として他にも様々な産業が集積しており、御社のビジネスにつながります。

企業集積が示す北九州市のポテンシャル



北部九州自動車生産台数の推移



自動車産業セミナー



自動車業界が100年に一度の大変革期といわれる中、自動車産業の動向や先端技術について、自動車メーカーや専門家などを講師に迎え、セミナー・講演会を開催しています。(年間2回程度)

◎北九州市の先進的取組

北九州市国家戦略特区

北九州市は、高齢化社会への対応や創業・雇用創出、近未来技術分野を中心に、規制緩和や事業者支援に係る特区メニューを活用しています。

先進的介護・高齢者活躍拠点の形成

特区活用全国初! 介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実験
市内の介護施設で、介護ロボットの開発・導入の実証実験を実施。

特区活用全国初! シニア・ハローワークの設置
概ね50歳以上の求職者を重点的に支援。

創業・雇用創出拠点の形成

外国人創業活動促進事業
外国人の起業に必要な要件(資本金・雇用人数・事業所)を半年間猶予し、その後、さらに最長1年間、コワーキングスペース等も事業所として認めることで創業がより円滑に。

高度人材外国人受入促進事業
本市が認定した財政支援を受ける企業で就労する外国人材を対象に、在留資格「高度専門職」の取得に必要なポイントを「+10点」特別加算。

特区活用全国初! 海外大学卒業外国人留学生の就職活動支援事業
海外の大学を卒業後、日本での就職を目指して来日した外国人留学生の日本語学校卒業後の就職活動継続を支援。

開業ワンストップセンター/雇用労働相談センター
開業に必要な登記、税務、年金・社会保険等の手続に関するオンライン申請や相談をワンストップで対応。また、スタートアップ企業を中心に、雇用主や労働者からの相談に弁護士等が対応。

近未来技術の開発・実証拠点の形成

電波法・特定実験試験局免許の迅速な取得
電波を活用した実証実験を行う際、迅速な免許発給が可能。

北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター
研究主体による自動走行、小型無人機、電波利用の実証実験が円滑に実施できるよう、ワンストップでサポート。

グリーンアジア国際戦略総合特区

目標 アジアの活力を取り込み、アジアから世界に向けて展開し、アジアと共に成長することを目指す
支援制度 環境配慮自動車(部品を含む)や再エネ・省エネに関する製品・設備の研究・開発や製造に対し、以下の支援制度がありますので、ぜひご利用ください。

国の総合特区制度活用支援メニュー

- ① 規制・制度の特例措置(工場立地に係る緑地規制の特例等)
- ② 税制上の支援措置(法人税の特別償却/投資税額控除の選択)
- ③ 金融上の支援措置(利子補給制度 融資額の最大0.7%補給)
- ④ 財政上の支援措置(関係省庁の予算制度を重点的に活用)

福岡県のグリーンアジア国際戦略総合特区特例

- ① 企業立地促進交付金……通常 設備投資額(用地取得費を除く)×1~3%
特区特例 上記の交付率(1~3%)に5%を加算→6~8%を交付
- ② 税制優遇措置……特区特例 不動産取得税(建物4%、土地3%)の免除

北九州市のグリーンアジア国際戦略総合特区特例

税制優遇措置……特区特例 固定資産税を3年間免除
※支援メニューを活用するためには、要件を満たす必要があります。詳しくはご相談ください。

北九州市SDGs未来都市

北九州市は、国連加盟国が全会一致で採択したSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを、都市の課題解決や地方創生の観点から、市一丸となって進めており、国内外からSDGsの先進都市として高く評価されています。

国内外からの評価

- 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞(2017年12月)
- OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジアで唯一選定される(2018年4月)
- 日本政府より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定される(2018年6月)

SDGs達成に向けた取り組み例

公務制服の経験で培ってきた「市民力」や「ものづくりの技術」を生かし、地域エネルギーの拠点化や、環境国際協力・環境国際ビジネスの推進、市民活動の推進などの取り組みを行っています。

環境国際協力・環境国際ビジネスの推進

地域エネルギーの拠点化

市民活動の場の提供(ESD等)

SDGs達成に向けた取り組み例

北九州市では、SDGs達成に向けて、市民・企業・団体・大学などの交流や活動を促進する「北九州SDGsクラブ」を設立しました。本クラブでは、交流会や勉強会などを通して、SDGsに参画しやすい環境づくりを行っています。そして、協働による新しい取り組みを育て、SDGsの達成につながる活動を広めていきます。(会員数1,793(令和4年2月末時点))
「北九州SDGsクラブ」ホームページ(<https://www.kitakyushu-sdgs.com/>)

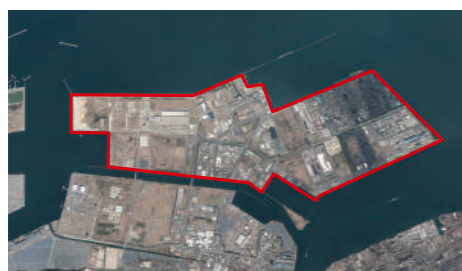
ニーズに対応した産業用地

質の高い豊富な人材を有する北九州市。市内を縦横無尽に走る高速道路網、鉄道、大型港湾施設、海上空港により、多様な物流手段が確保できる北九州市。ここは、製造・物流拠点として最適な地。そして、それを実現できる産業空間が広がります。様々なニーズに対応し、この地から始まるビジネスをバックアップします。

賃貸物件にもスピーディーに対応

長期賃貸が可能な用地もご提案できます。また、貸工場や貸倉庫・貸オフィスなどのニーズに対しても、不動産業者との連携や市独自の物件情報をもとに、速やかに対応します。

産業用地一覧 | ●市有地 ●企業用地



1 響灘臨海工業団地

●用途地域/工業専用地域



3 ひびき灘開発株式会社 用地

●分譲面積/約19ヘクタール(3,770㎡/区画)
●価格/21,800円~23,700円/㎡(要相談)
●用途地域/準工業地域



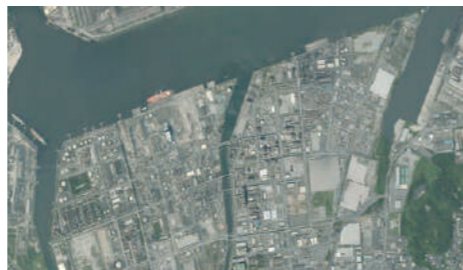
2 日本製鉄株式会社 用地

●分譲面積/約2~5ヘクタール/区画
●用途地域/工業専用地域



4 AGC株式会社 北九州事業所 用地

●提供可能面積/約1~4.3ヘクタール/区画
●用途地域/工業専用地域



5 三菱ケミカル株式会社 福岡事業所 用地

●提供可能面積/約4ヘクタール
●用途地域/工業専用地域



6 酒本商事株式会社 用地

●分譲面積/約8.2ヘクタール
●用途地域/準工業地域



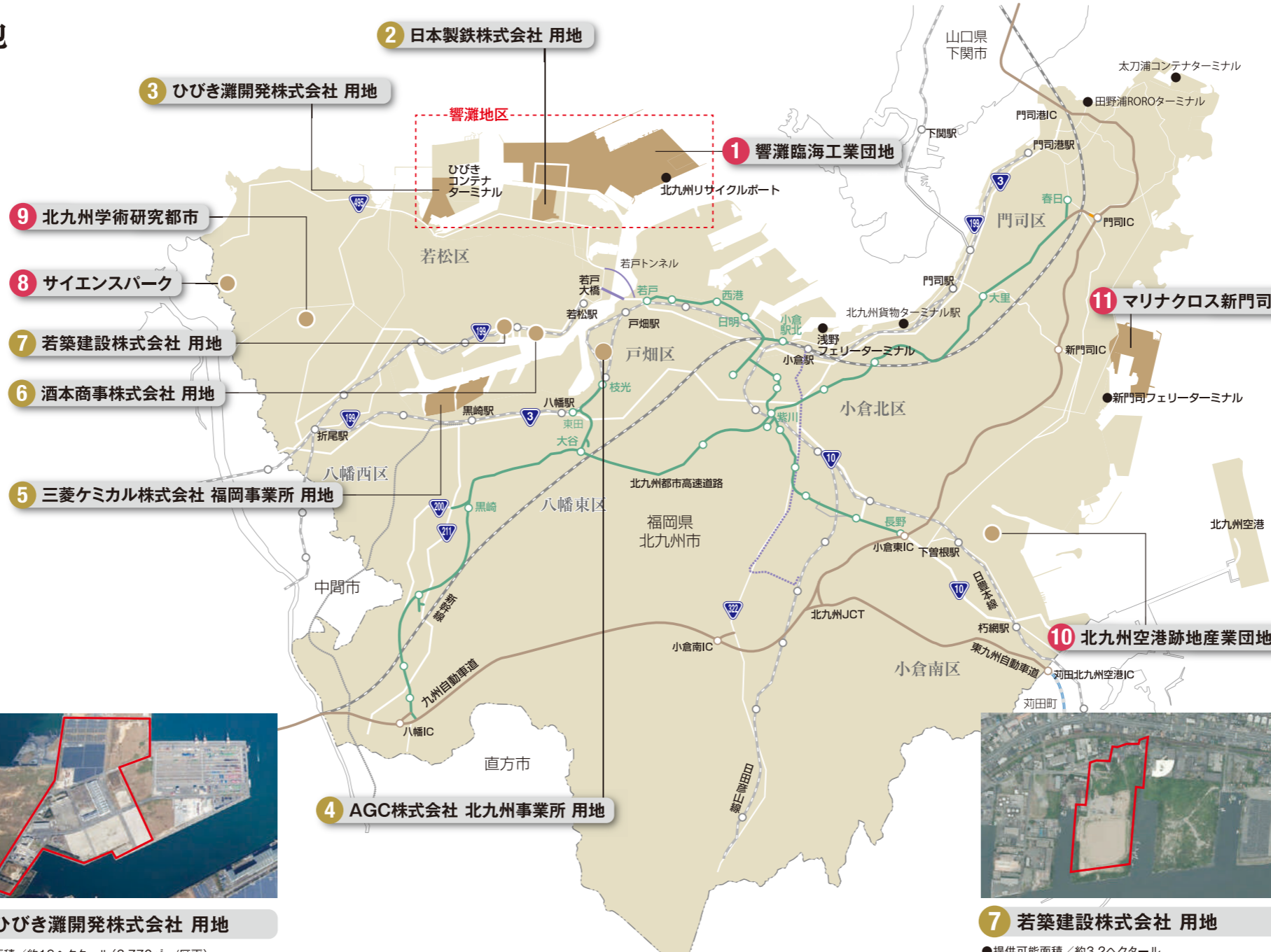
8 サイエンスパーク

●分譲面積/約7.3ヘクタール
●価格/27,500円/㎡(令和3年度標準地価格)
●用途地域/準工業地域(地区計画あり)



11 マリナクロス新門司

●用途地域/工業地域、準工業地域



大規模な産業用地 ここから始まる 新たなビジネス

陸・海・空の物流インフラを組み合わせることにより、多様な物流手段を確保でき、企業進出にあたって市がワンストップでサポートします。



9 北九州学術研究都市

●分譲面積/約25ヘクタール
●用途地域/準工業地域(地区計画あり)



10 北九州空港跡地産業団地

●分譲面積/約7.6ヘクタール
●価格/24,400円/㎡(平成30年度標準地価格)
●用途地域/工業地域(地区計画あり)

響灘地区 大型港湾施設に隣接する広大な産業用地

地区内には-15mの大水深岸壁を擁し、高いポテンシャルを秘めた「ひびきコンテナターミナル」を備えるとともに、北九州市が有する24時間空港やフェリー、RO-RO船、JR貨物ターミナル等の物流インフラを活用可能な立地となっています。利便性の高い立地を背景に本地区は日本とアジアの玄関口を担う製造・物流の拠点として、プリチストンをはじめ、多くの企業が集積しています。また、同地区では、「グリーンエネルギーポートひびき」事業(※1)を推進しており、風力発電をはじめとした環境・エネルギー産業の集積を図っています。

響灘地区主要地点までの距離

- 市高速若戸ランプ……………4km(6分)
 - 都市高速黒崎ランプ……………17km(20分)
 - JR若松駅……………3km(5分)
 - JR小倉駅……………10km(15分)
 - 北九州貨物ターミナル駅……………16km(20分)
 - 北九州空港……………31km(40分)
- ※()内は車での移動時間

※1: 響灘地区のポテンシャルを活かし風力発電関連産業の集積を図ることで、風車の実証研究、部品製造、物流、メンテナンスを一貫して担う環境を整え、国内風力発電産業の国際競争力を強化し、同地区のアジアにおける風力発電関連産業の総合拠点化を目指すもの。

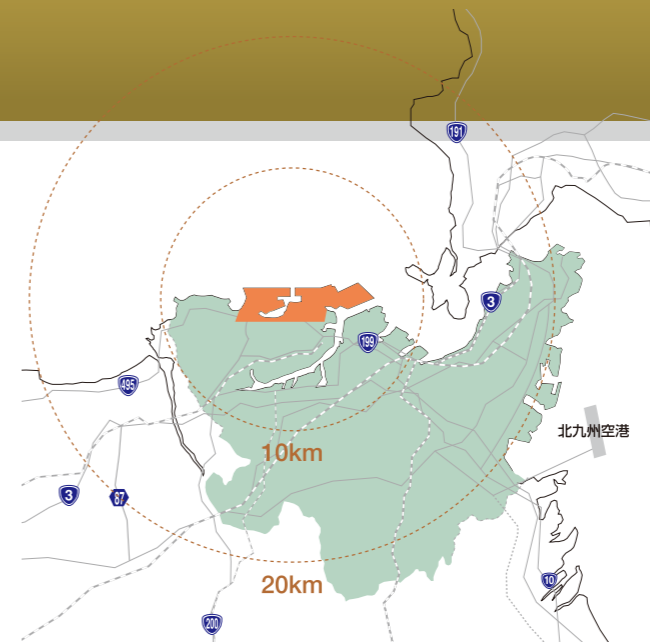


🌪️ 風力発電
☀️ 太陽光発電
🌱 バイオマス
💧 蒸気の企業間連携
🔥 天然ガス
🌿 グリーンオイル
🛢️ 石油備蓄

要港湾利用 製造工場等
響灘臨海工業団地「響灘地区」

**大型港湾施設と一体となった
産業団地を目指して**

本団地は九州全域及び中国地方へのアクセス面に加えて、港湾インフラによってアジア諸国と連携した生産・貿易拠点としての優位性を背景に、ブリヂストンをはじめ、製造業を中心とした多くの企業立地が進んでいます。また、本団地を含む響灘地区は本市環境・リサイクル産業振興政策の中心地であり、グリーンエネルギー関連企業やリサイクル関連企業の集積が期待されています。



響灘地区主要地点までの距離

- 都市高速若戸ランプ ……4km (6分)
 - 都市高速黒崎ランプ ……17km (20分)
 - JR若松駅 ……3km (5分)
 - JR小倉駅 ……10km (15分)
 - 北九州貨物ターミナル駅 ……16km (20分)
 - 北九州空港 ……31km (40分)
- ※ ()内は車での移動時間

用地概要

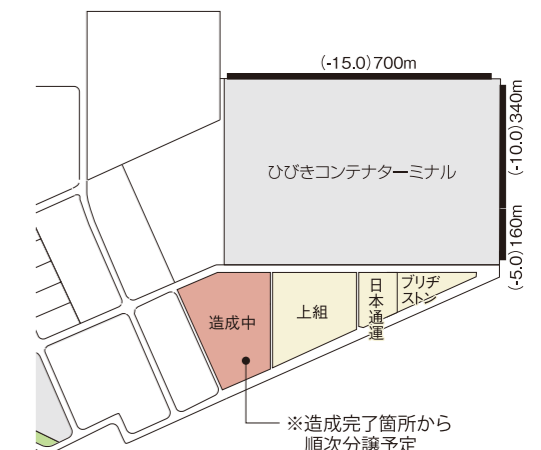
所在地	北九州市若松区響町	
分区	工業港区	
用途地域	工業専用地域	
建ぺい率 及び容積率	建ぺい率60% 容積率200%	
インフラ	用水	上水道、工業用水
	排水	処理主体一個別企業 排水先 一瀬戸内海
	電力	特別高圧 (66kV、22kV) 高圧 (6kV)
	ガス	都市ガス供給区域

凡例

- 立地済み等
- 緑地
- ふ頭用地等
- 岸壁
- 北九州エコタウン



響灘西部地区分譲地



用地概要

所在地	北九州市若松区響町三丁目	
面積	約5.8ha	
分区	商港区	
用途地域	準工業地域	
建ぺい率 及び容積率	建ぺい率60% 容積率200%	
インフラ	用水	上水道
	排水	下水道無(浄化槽設置要)
	電力	九州電力

要港湾利用 製造工場等
日本製鉄株式会社用地 「響灘地区」

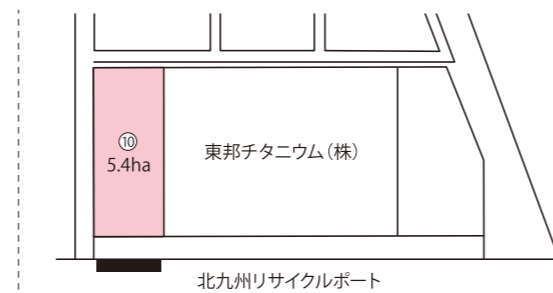
広大な用地と整備されたインフラで戦略的事業用地として分譲中です。

用地概要

所在地	北九州市若松区向洋町、響町
分区	工業港区
用途地域	工業専用地域 建ぺい率60%/容積率200%
用水	上水道、工業用水
排水	①~⑨: 下水道 ⑩: 要問合わせ
電力	特別高圧(66kV、22kV) 高圧(6kV) ※供給可能時期は要相談
ガス	都市ガス供給区域
分譲価格	要相談



大型港湾施設に近接する広大な産業用地



開発中区画

区画	面積	区画	面積
①	2.7ha	⑥	4.9ha
②	2.0ha(調整中)	⑦	1.7ha
③	4.6ha(調整中)	⑧	1.7ha
④	2.0ha	⑨	3.0ha
⑤	4.0ha(調整中)		

※用地開発や分譲条件等の詳細はお問合わせください。

用地紹介動画
YouTube
で公開中!



要港湾利用 物流施設等
ひびき灘開発株式会社用地 「響灘地区」

水深-15mの岸壁を有するひびきコンテナターミナルの直背後に位置する好立地。
アジアのマーケットに繋がる最適な物流拠点用地です。

用地概要

所在地	北九州市若松区響町三丁目1番 (ひびきコンテナターミナル背後地)
面積	約195,100㎡(1区画:3,770㎡~)
開発行為番号	平成14年4月1日付 北九州市指令建都指宅(市)第13-36号
分譲方法	公募分譲(随時行います)
地目	雑種地
用途地域	準工業地域(臨港地区・商港区)
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%
インフラ	用水 上水道:北九州市 排水 下水道:無(浄化槽設置要) 雨水排水 前面道路に雨水排水管完備 電力 特別高圧(22kV) 高圧(6.6kV) ガス プロパンガス
宅地建物取引業免許番号	福岡県知事(5)第14528号
取引態様	売主

分譲区画/価格

区画	面積	分譲価格(㎡単価)	区画	面積	分譲価格(㎡)
⑥	8,810㎡	21,800円/㎡	⑳	3,770㎡	23,700円/㎡
⑦	8,810㎡		㉑	35,000㎡	21,800円/㎡
⑧	7,530㎡		㉒	29,000㎡	
⑬	4,150㎡	㉓	55,000㎡		
⑱	3,910㎡	㉔	35,000㎡		
㉕	4,120㎡	23,700円/㎡			

2021年6月から運用



大型港湾施設の直背後に
位置する港湾物流拠点用地



※一定の条件がありますので
お問合わせください。

要港湾利用 製造工場等
AGC株式会社 北九州事業所用地

市街地に近く、都市高速道路やコンテナターミナルへのアクセスも良い好立地。用地内にある既存インフラの活用による初期投資を低減した企業立地をご提案します。



用地概要

土地所有者	AGC株式会社
所在地	北九州市戸畑区牧山5丁目1番1号
用途地域	工業専用地域 建ぺい率 60%、容積率 200%
分区	工業港区
契約条件	賃貸借契約のみ

- インフラ設備
- 電力……………買電(九州電力)
 - 用水……………工業用水、上水(北九州市)
 - ガス……………都市ガス
 - 排水……………下水道なし(浄化槽設置要)

- 物流インフラ
- 棧橋……………プライベートバス 約400m、
喫水8.4m、最大10,000t
 - トラック計量器……………1基
 - 接道状況……………県道50号線
 - 都市高速……………枝光IC 約5分

要港湾利用 製造工場等
三菱ケミカル株式会社 福岡事業所用地

事業所内の充実したインフラや基礎化学品の供給など、初期投資の大幅な削減やランニングコストの大幅な低減により、企業立地をサポートします。

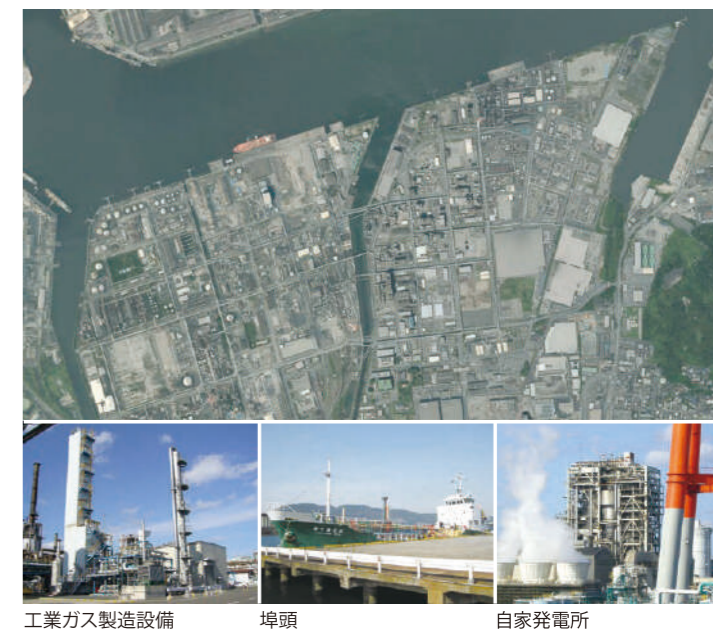
用地概要

土地所有者	三菱ケミカル株式会社
所在地	北九州市八幡西区黒崎城石1番1号
用途地域	工業専用地域
分区	工業港区

- インフラ設備
- 電力……………自家発電、買電(九州電力)
 - 蒸気……………高圧蒸気・中圧蒸気・低圧蒸気
 - 用水……………工業用水(北九州市、自家用水)・上水他
 - 工業ガス……………窒素・酸素
 - 排水……………活性汚泥処理

- 物流インフラ
- 埠頭、棧橋……………埠頭1カ所(最大・載貨重量トン13,500t、喫水7.6m)・
棧橋5カ所(危険物荷役可能、ローディングアーム荷役)
 - トラック計量器……………3基(秤量50t、載せ台3m×15m)
 - トラック通用門……………3ヶ所(カードによる出入管理)

- 提供可能基礎化学品
- 硫酸、メタノール、酸素、窒素



酒本商事株式会社 用地

市街地に近接した工業用地。若戸大橋に近く、市内外へのアクセスが充実しています。

穏やかな洞海湾に面した土地

用地概要

所在地	北九州市若松区くきのうみ中央
面積	約8.2ha
用途地域	準工業地域
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%
インフラ	用水 上水道 排水 下水道整備予定 電力 高圧(6kV近隣にあり) ガス 都市ガス供給区域

分譲区画及び面積

区画	面積
①	82,000㎡(約24,848坪)

分譲価格 分割要相談



若築建設株式会社 用地

二島工業団地に近接した工業用地。国道沿いには住宅地があり、JR筑豊本線藤ノ木駅が近いので、通勤に便利な職住近接のロケーションです。

穏やかな洞海湾に面した土地



用地概要

所在地	北九州市若松区大字藤ノ木
面積	約3.2ha
用途地域	工業地域・準工業地域
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%
インフラ	用水 上水道 排水 下水道 電力 高圧(6kV) ガス プロパンガス

① 賃貸地(第1期)

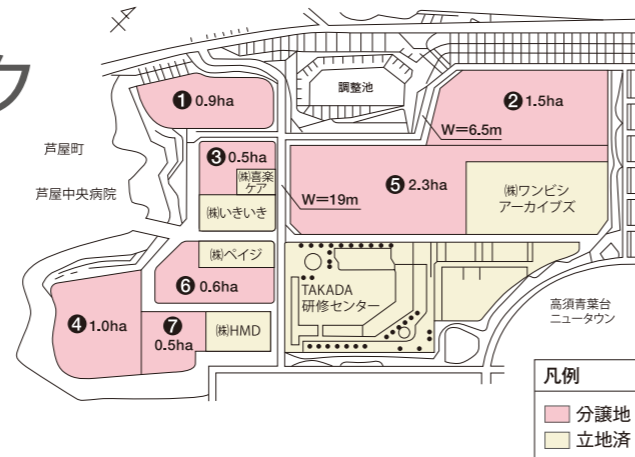
区画	面積	分譲価格
1号地	3,547.6㎡	450,000円/月
9号地	3,060.7㎡	450,000円/月

※第2期(3~8号地)は整備時期未定

店舗・福祉関連施設等 研究開発施設等
サイエンスパーク

店舗や福祉関連施設などの
立地に最適

快適な住環境として名高い高須青葉台ニュータウンの一角に位置しており、隣の芦屋中央病院と隣接し、店舗や福祉関連施設等に最適な用地です。
強固な地盤(N値50以上)が特徴でデータセンター等にも向いています。



用地概要		分譲区画及び面積		
所在地	北九州市若松区青葉台西六丁目	区画	面積	
面積	約7.3ha	①	9,000㎡(約2,727坪)	
分譲方法	随時受付中	②	15,000㎡(約4,545坪)	
地目	宅地	③	5,000㎡(約1,515坪)	
用途地域	準工業地域(地区計画あり)	④	10,000㎡(約3,030坪)	
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%	⑤	23,000㎡(約6,970坪)	
インフラ	用水	上水道	⑥	6,000㎡(約1,818坪)
	排水	下水道	⑦	5,000㎡(約1,515坪)
	電力	高圧(6kV)		
	ガス	都市ガス供給区域		

地区計画の用途 ①~⑤: 生活・業務関連施設地区 ⑥、⑦: 研究開発地区	分譲価格 (参考) 令和3年度標準地価格 ①~⑦ 27,500 円/㎡(約90,750円/坪)
--	--



研究開発施設等
北九州学術研究都市

理工系大学、研究機関が集積する
研究開発拠点化用地

大学、研究機関、産学連携施設等を主体とした大規模な研究開発拠点化用地で自動車・ロボット・半導体などの研究開発型企業や実証フィールドに最適な用地です。



用地概要		
所在地	北九州市若松区ひびきの北	
面積	約25ha	
用途地域	準工業地域(地区計画あり)	
建ぺい容積	建ぺい率60%、容積率200%	
インフラ	用水	上水道
	排水	下水道
	電力	高圧(6kV)
	ガス	都市ガス供給区域

分譲区画/価格 (参考) 令和3年7月価格		
区画	面積	分譲価格(㎡単価)
①	約6ha	30,800円
②	約7,900㎡	32,000円
③	約3,000㎡	33,900円
⑥	約9,100㎡	要相談
⑦	約16ha	-



製造工場等 物流施設等
北九州空港跡地産業団地

交通アクセスに優れ大規模な用地が確保できる産業用地

北九州空港、JR下曾根駅や九州縦貫自動車道小倉東インターチェンジ等への交通アクセスに優れ、地域への波及効果の高い自動車産業を中心とした次世代産業拠頭に位置づけられた産業団地です。
将来的には、団地東側に都市計画道路6号線が整備されることで、北九州空港やマリナクロス新門司までのアクセスが良くなり、更なる交通利便性の向上が期待されています。

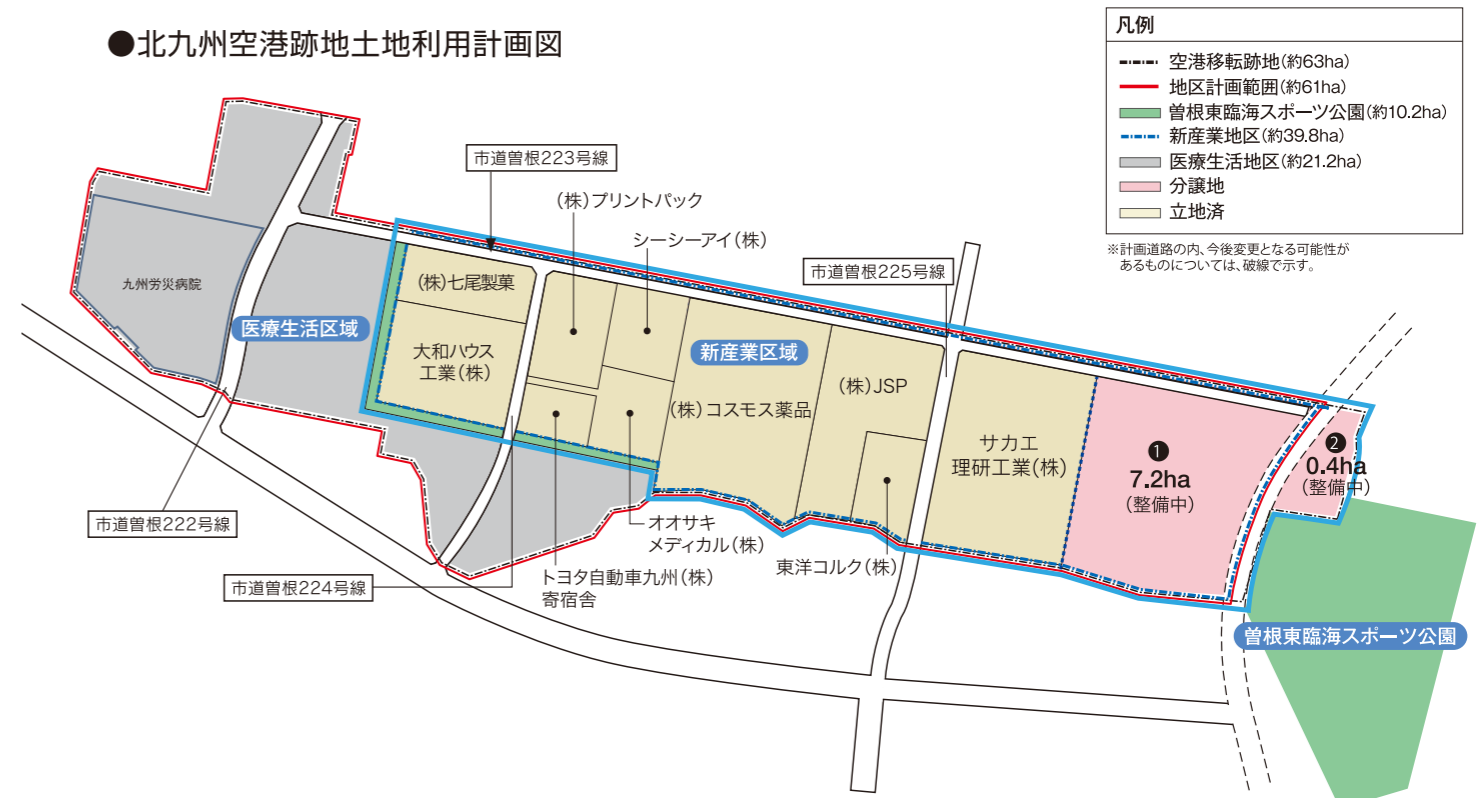
用地概要		
所在地	北九州市小倉南区曾根北町	
面積	約7.6ha	
用途地域	①工業地域(地区計画あり)、②市街化調整区域	
インフラ	用水	上水道
	排水	下水道
	電力	特別高圧(22kV近隣にあり) 高圧(6kV)
	ガス	都市ガス供給区域

分譲価格 (参考) 平成30年度標準地価格

24,400円/㎡(約80,520円/坪)



●北九州空港跡地土地利用計画図



凡例	
---	空港移転跡地(約63ha)
---	地区計画範囲(約61ha)
---	曾根東臨海スポーツ公園(約10.2ha)
---	新産業地区(約39.8ha)
---	医療生活地区(約21.2ha)
---	分譲地
---	立地済

※計画道路の内、今後変更となる可能性があるものについては、破線です。



要港湾利用 物流施設等

マリナクロス新門司「新門司地区」

海・陸・空の複合輸送を 駆使できる物流拠点

九州の玄関口に位置し、高速道路にわずか5分でアクセスできるロケーションを誇り、九州のみならず、中国地方をはじめ本州への最適物流が実現できる九州でも有数の物流団地です。また、団地内には西日本最大級のフェリーターミナルを擁し、関東・関西圏へのグリーン物流を実現します。

現在、トヨタ自動車の物流拠点をはじめ、約100社の企業が立地しており、本州や九州への結節点としての優位性から、九州における物流拠点として物流企業の集積が加速しています。

用地概要

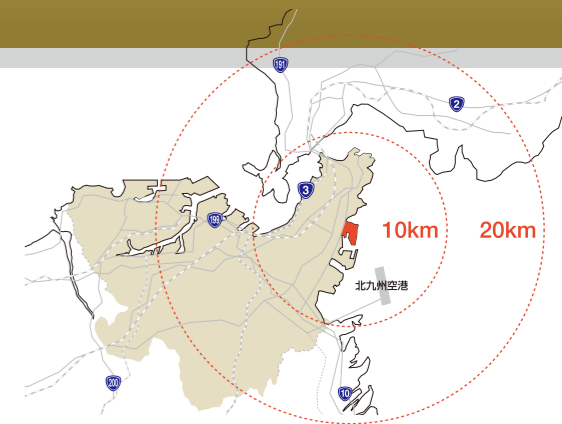
所在地	北九州市門司区新門司北二丁目	
分区	商港区	
用途地域	工業地域及び準工業地域	
建ぺい率 及び容積率	建ぺい率60% 容積率200%	
インフラ	用水	上水道
	排水	処理主体一個別企業 排水先 一瀬戸内海
	電力	高圧(6kV)



マリナクロス新門司主要地点までの距離

- 新門司インターチェンジ……………2km(5分)
- 門司インターチェンジ……………5km(8分)
- 都市高速大里ランプ……………5km(8分)
- JR門司駅……………6km(10分)
- JR小倉駅……………12km(20分)
- 北九州貨物ターミナル駅……………8km(15分)
- 太刀浦コンテナターミナル……………10km(16分)
- 北九州空港……………20km(35分)

※()内は車での移動時間



凡例

立地済	緑地	ふ頭用地等	岸壁
-----	----	-------	----

ワンストップによる行政のバックアップ

様々な行政支援

- 進出時のワンストップサービス
- 助成金制度、融資制度
- 工場立地法に関する相談
- 中小企業支援センターによる支援
(経営相談・起業支援・専門家派遣・情報提供等)



お客様(企業)



企業立地支援課・物流振興課が窓口となり、関連課等との調整をワンストップで行います。

北九州市のワンストップ体制

- 企業進出に伴う行政手続きを北九州市が単独かつワンストップで対応

※お客様のご要望に併せて、手続き関連部局との連絡調整や調整会議の開催などのフォローアップを行います。

北九州市で対応できる行政手続 (ほとんどの許認可は北九州市で対応可能)

主な行政手続の例	対応状況
建築基準法	北九州市が単独許認可
消防法	北九州市消防局の同意
大気汚染防止法	北九州市が許認可
水質汚濁防止法	北九州市が許認可
騒音規制法	北九州市が許認可
振動規制法	北九州市が許認可
工場立地法	北九州市への届出

企業間連携 北九州市が行っている、企業と企業を結ぶ様々なサービス

◎中小企業振興課 https://city.kitakyushu.lg.jp/business/menu003_00026.html

◎中小企業支援センター <https://www.ktc.ksrp.or.jp>

企業検索
北九州市内の中小製造業の技術・製品情報等まとめたデータベース
■北九州技術マップ
<https://b2b.ktc.ksrp.or.jp>



販路拡大
展示会・商談会情報、商品展開プロモーション



人材確保支援

◎北九州しごとまるごと情報局「しごまる。」 <https://www.shigotomarugoto.info/>

本サイトに企業情報や新卒学生向けの新卒求人情報、社会人向けの一般求人情報を登録することで、広く市内外の学生や転職者等に情報発信することができます。 ※利用には、一部条件がありますので、詳しくはサイトをご覧ください。

サービス内容

- 求職者へ企業の魅力を効果的に情報発信!
- 無料で職業紹介サービスの利用が可能!
- 市主催のイベント(合同会社説明会・インターンシップ等)をご案内します!



立地後も事業推進、雇用の確保など、様々な面で継続サポート

一般求人取扱い | 北九州市U・Iターン応援プロジェクト (<https://www.shigotomarugoto.info/ui-turn/>)
※若者ワークプラザ北九州 (<https://www.shigotomarugoto.info/wakamono/>) でも求人情報をお預かりできます。

◎北九州市外国人材就業サポートセンター <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/09801254.html>

市内企業の外国人材受入れに関する専門相談、外国人材活用セミナー、留学生との就職マッチングサポート等を行っています。

ロボット導入・DX推進支援事業

地元企業の生産性向上やものづくり力強化を支援します



支援内容 相談窓口 + 人材育成 + 導入支援 + 情報発信

産業用ロボット導入推進補助金

ものづくり市内企業向けに産業用ロボット導入等を支援

補助金	補助対象経費	交付上限・補助率
導入前検証(FS)	人件費、外注費等	2/3以内、200万円上限
導入支援補助金	導入経費、付帯経費等	1/2以内、500万円上限

※補助金の金額・名称・内容は予定です。変更する場合があります。

DX・デジタル化推進補助金

市内企業向けにDX・デジタル化の各種取組を支援

補助金	補助対象経費	交付上限・補助率
デジタル化枠	人材育成・教育経費・製品・サービス開発経費	1/2以内、80万円上限
DXモデル育成枠	システム導入経費・システム導入経費	2/3以内、200万円上限
DXモデル枠	環境整備経費・その他等	2/3以内、500万円上限

工業用水道事業 政令市で一番の低料金



供給能力 254,000m³/日 契約会社:69事業所
契約水量 200,845m³/日 (R4.2.1現在)

お試し受水できます

二部料金制でさらにお得

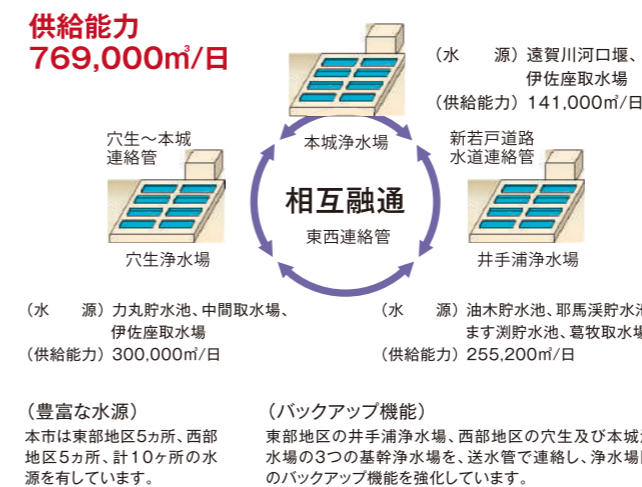
優遇制度あります

契約水量	使用料金	基本料金	基本使用料金
300m ³ /日以上	23.5円	19.5円	4円
300m ³ /日未満	38円	34円	4円

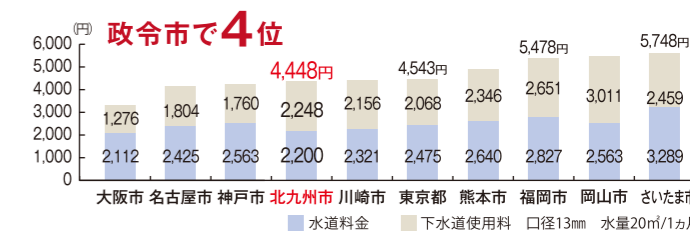
令和4年2月現在(税抜額)

上下水道事業 地震・濁水などの災害や事故に強い水道

本市では、地震・濁水などの場合でも、浄水場・管路の耐震化や水源の多様化、他の浄水場からの応援給水(相互融通)により、影響の範囲を少なくすることができます。



福岡県内で1番安い
上下水道料金



令和4年2月現在(税抜額) ※他都市料金は北九州市調査により試算した額

企業立地促進補助制度

ご利用にあたって

- 各種補助要件(投資額・雇人数等)があります。
- 事業着手前に事業計画書を提出する必要があります。
- 補助制度については変更となる場合がございます。

最新の制度内容や申請方法については、お気軽にお問い合わせください。

◎企業立地促進補助金

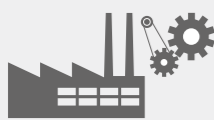
対象要件 以下の施設もしくは指定する業種の事業所の
新設・増設が対象

施設	事業所				
<ul style="list-style-type: none"> ●製品の製造加工工場 ●自然科学研究所 ●荷捌き施設 ●保管施設 ●流通加工施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●機械修理業 ●事務用機械器具賃貸業 ●情報提供サービス業 ●機械設計業 ●ディスプレイ業 	<ul style="list-style-type: none"> ●賃貸施設 (別途要件があります。詳細についてはお問い合わせください。) ●総合リース業 ●ソフトウェア業 	<ul style="list-style-type: none"> ●広告代理業 ●経営コンサルタント業 ●産業用設備洗浄業 ●産業用機械器具賃貸業 ●情報処理サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン業 ●エンジニアリング業 ●非破壊検査業 	

◎雇用要件:新規常用雇用者(※1)5人以上(市内中小企業3人以上)

(※1:次のいずれかに該当する者)福岡県民で新規に雇用された者、もしくは新規雇用・転勤・出向で北九州市に転入した者

①設備補助 最大10億円



- 市外企業・市内大企業
設備投資額の ▶ 2%
- 市内中小企業
設備投資額の ▶ 3%



建物、土地、設備の
年間賃借料(初年度)の ▶ 1/2

②雇用補助

- 新規常用雇用 ※但し、短時間労働者の場合

30万円/人 15万円/人 ※雇用補助のみ対象外

◎本社機能等移転促進補助金

対象要件 ●企業の本社機能等の移転・拡充が対象 ※市内既存の本社機能等の移転のみは対象外
●市内企業のマザー工場化・拠点の集約等

本社機能とは 「総務・経理等の管理業務部門」、「調査・企画部門」、「情報処理部門」、「研究開発部門」、「国際事業部門」の
いずれかを有する事務所または研究所、もしくは研修所のこと。

①設備補助 助成額の上限5億円

企業の大規模な本社機能等の移転・拡充や
本社機能等が入居可能なオフィスビルの建設企業

企業の一定規模の本社機能等の移転・拡充や
市内企業のマザー工場化・拠点の集約等



新規の雇用者数に応じて
最大設備投資額の ▶ 33%



●市内中小企業
設備投資額の ▶ 6%
●市内中小企業
設備投資額の ▶ 7%

市内オフィスビル賃借による企業の
本社機能等の移転・拡充
5年間の賃料の助成額上限 2,500万円
(立地後5年間の雇用計画が100人以上の場合は、2億5千万円)

建物の年間賃借料の
1/2 (5年間)

②雇用補助 助成額の上限なし

- 新規常用雇用 (正社員の場合) 50万円/人
- (正社員以外の場合) 30万円/人
- (短時間労働者の場合) 15万円/人

※市内オフィスビル賃借による企業の本社機能等の移転・拡充に伴う補助金の場合
は、初年度以降、純増員数に限る。

オフィス関連補助制度

市内オフィスビルに事業所を設置する企業様向け

◎オフィス立地促進補助金

対象施設 自然科学研究所、コンタクトセンター、ソフトウェア業、インターネット付随サービス情報処理サービス業、情報提供サービス業を営む事業所

雇用案件 新規常用雇用者(※1)3名以上
(※1:次のいずれかに該当する者)
福岡県民で新規に雇用された者、もしくは新規雇用・転勤・出向で北九州市に転入した者

①賃料補助 助成額の上限1500万円

(立地後3年間の雇用計画が100人以上の場合は、1億5千万円)



建物の
年間賃借料の ▶ 1/2 (3年間)

③オフィス改修補助 助成額の上限300万円

(本社機能等移転を伴う場合は限度額500万円)



改修費の ▶ 1/2

②雇用補助 助成額の上限なし

(立地後3年間の交付対象の新規常用雇用者が対象)
※各年において純増員数に限る。

- 新規常用雇用 ※但し、短時間労働者の場合

30万円/人 15万円/人



テレワーク環境整備費(Wi-Fiの設置、LANの敷設など)
感染防止対策に資する改修費及び付帯設備設置費などが対象

市内オフィスビル・商業ビルの所有者様向け

◎オフィスリノベーション補助金

対象要件 (①~③の要件を満たすビルが対象)

- ①100坪以上の賃貸借契約を予定
- ②ソフトウェア業、情報処理サービス業、コンタクトセンター業等の入居予定
- ③OAフロアの新築工事、または改修工事

※令和5年3月31日までに工事を開始し、かつ令和5年12月31日までに工事を完成させていること。

改修補助 助成額の上限5億円



改修費の ▶ 1/5

◎次世代スマートビル建設促進補助金

対象要件

- JR小倉駅またはJR黒崎駅から半径1km圏内に新築または建替えるビル
- 1階層あたり100坪以上、全階層の合計で500坪以上の賃貸用オフィスを整備
- IT企業等のためのOAフロアを設置すること
- 感染症対策の措置、最先端のデジタル技術の活用、環境への負担軽減措置、景観等への配慮

建設補助 助成額の上限10億円



建設費 ▶ 1/5
(賃貸用オフィス部分の割合)

※ビル整備後5年間の入居成約状況に応じて交付

企業立地促進資金融資制度

融資内容

- ①対象経費 用地費、工場、事業所等の建設費(機械設備を含む)、工業用水道工事費、特別高圧電力工事費負担金
- ②返済期間 10年以内(据置2年以内を含む)
- ③利用可能額 「対象経費」の80%以内で、1企業あたり10億円以内
- ④貸出利率 年1.45% ※変動する可能性があります。